

平成28年3月1日

関係各位

まゆみ会代表 橋本弘子

「第12回まゆみ杯卓球大会」開催のお知らせ（案内）

早春の候、皆様にはご健勝のことお喜び申し上げます。日頃、障がい者スポーツへのご支援、ご協力を頂き、誠に感謝申し上げます。まゆみ会では、障害の有無に関わらず、スポーツを通じて同じく爽やかな汗を流せる仲間たちとの交流を目指しています。この度、2020年開催の東京パラリンピックを更に身近なものとして捉え福島の卓球競技のレベルアップを目的に標記大会を開催致します。大会の趣旨をご理解頂き、お誘い合わせの上、多くの方にご参加いただきたいと思います。

尚、大会要項は別紙の通りです。お問合せや申込みはまゆみ会事務局までご連絡下さい。皆様のご参加をお待ちしています。

**【第12回まゆみ杯卓球大会】**

主催：まゆみ会

開催日：平成28年7月3日（日）受付8：40 開会式9：00

会場：本宮総体育館 本宮市高木字黒作1 TEL：0243-34-2131

参加申し込み締切：平成28年4月30日まで必着

連絡先：まゆみ会 橋本弘子 本宮市本宮字小幡63-6

tel.fax 0243-34-3170 メール [saijyou@poem.ocn.ne.jp](mailto:saijyou@poem.ocn.ne.jp)

携帯 tel 090-9030-5827 メール [saijyou@i.softbank.jp](mailto:saijyou@i.softbank.jp)

※お電話は18：00以降にお願い致します。

# 第12回まゆみ杯卓球大会要項

## 1. 目的

まゆみ会では2020年東京パラリンピックに向けて、まゆみ会卓球技術練習会での成果を試し、卓球愛好者との交流と社会の障がい者スポーツへの理解、支援体制の充実を図り併せて福祉の地域づくりを目的としたまゆみ杯卓球大会を開催する。

## 2. 主催

まゆみ会

## 3. 後援・協力(予定)

(公財) 福島県障がい者スポーツ協会・福島県肢体不自由者卓球協会・本宮卓球協会  
本宮市・本宮市教育委員会・(社福) 本宮市社会福祉協議会・桑原卓球センター  
福島県立本宮高等学校卓球部・本宮市立本宮第一中学校卓球部・JB 日本接骨師会

## 4. 開催期日

平成28年7月3日(日) 8:40～受付開始  
9:00～開会式  
9:30～競技開始

## 5. 会場

本宮総合体育館 福島県本宮市高木字黒作1 TEL0243-34-2131

## 6. 参加資格

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害手帳所持者、その他主催者が認めたもの。

## 7. 参加費(当日徴収)

1,000円(弁当代は含まれません。弁当代600円)

## 9. 競技種目

- ①立位上級の部 まゆみ杯卓球大会の中で上位入賞経験者、または3回戦以上勝ち上がり経験者
  - ②立位初級の部 知的・精神障がいの部を含む卓球競技の初心者  
(車椅子プレイスタイルを除く)
  - ③車椅子の部 車椅子使用者またはプレイスタイルが車椅子使用の者
  - ④知的・精神障がいの部 療育手帳、精神障害手帳所持者、または主催者が認めた者
- ※すべて男女混合とする。車椅子使用者で希望すれば、立位上級の部への参加を認める。

## 10. 競技方法

①個人戦のみとする。

②全ての試合を5ゲームスマッチとする。

③予選リーグ後、各グループより上位2名を選出し、決勝トーナメントを行う。

※全試合タイムアウト制は適用しないものとする。また、3位決定戦は行う。対戦の組み合わせは主催者側に一任する。参加人数により変更を行う。

## 11. 使用球

ニッタクプラ 3スター 40mm ホワイト

## 12. ユニホーム、ゼッケン

ユニホームを必ず着用し、ゼッケン(20cm×18cm)は各自準備すること。着用しない場合は出場する事が出来ない。

## 13. 競技規則

本大会は、日本卓球協会(JTTA)の競技規則により行うが、改正・例外および変更については、本大会申し合わせ事項にもとづき行う。

## 14. 競技中の事故について

競技中に事故が発生した場合は応急処置のみとし、その他の責任は負わないので、健康管理には充分注意すること。治療費等は原則として競技者の負担とする。

## 15. 参加申込み

参加申込書に必要事項を記入(メール、faxでも可)の上、平成28年4月30日までに大会事務局へ申し込むこと。メール、faxでの申込者は、電話確認をすること。

## 第12回まゆみ杯卓球大会事務局

【申込先】〒969-1159 福島県本宮市本宮字小幡63-6

tel/fax : 0243-34-3170 メール : [saijyou@poem.ocn.ne.jp](mailto:saijyou@poem.ocn.ne.jp)

携 帯 : 090-9030-5827 メール : [saijyou@i.softbank.jp](mailto:saijyou@i.softbank.jp)

(携帯電話へは、18:00以降にお願い致します)

# 本大会の申し合わせ事項

## 【車椅子使用者の規則】

### 1 シングルスにおけるサービスのルール

- ① エンドラインを通過せずサイドを横切ったものはレットとなる。ただし、サイドラインを横切った場合でも、レシーバーが打球した場合は、インプレーとする。なお、返球しようとしてもラケットに当たらなかった場合は、レットとなる。
- ② レシーバー側の台でバウンドした後、ネットの方向に戻った場合、または制止した（エンドラインを通過しない）場合は、レットとする。

### 2 卓球台への接触

打球後、身体バランスの回復（危険防止）のために、卓球台を動かさないことを条件に、ラケット・ハンドを卓球台へ接触させることができる。ただし、車椅子の方向をコントロールするために、卓球台を掴む・触れる等の行為は禁止されており、その行為を行なった場合は相手方の得点となる。

### 3 車椅子

- ① 車椅子には、少なくとも2個の大きい車輪と、1個の小さい車輪が必要である。
- ② フットレスを取り付けることは可能だが、プレー中は、足を床に触れないものとする。触れた場合は、相手の得点となる。
- ③ 本大会の試合では、ストラップまたは他の補助器具を使用することができる。

### 4 車椅子選手の動作

ボールがインプレーである時、競技者が車椅子のクッションと大腿後部で、最小限の接触をしなかった場合は、相手方の得点となる。例えば、車椅子のフットレスト等を使用して起立する場合、また、臀部が完全に浮き上がる行為（ヒップアップ等）は、相手方の得点となる。

## 【立位競技者の規則】

立位競技者は、すべてJTTAルールブックに従ってプレーするものとする。ただし、特例として、審判長判断事項を認める。

## 【審判長判断事項】（車椅子・立位）

- 1 選手が競技する前に、障害のため正規なサービスができないとの申告があれば、審判長の判断により、正規のサービスのため条件を緩和することができる。
- 2 選手が障害のため、競技中身体のバランス回復のため、フリーハンドで卓球台を掴む・触れる等の要求を事前に申告すれば、審判長により決定することができる。ただし、卓球台を動かしてはいけない。